

貧しき幼児達の爲めに

東京府下日暮里櫻楓會托兒所 丸 山 千 代

幼稚園に働かるゝ多くの先生方ミ私共托兒所に居ります者ミの御話し會ふ機會が毎もほしいと思つて居りましたが、其の皮きりの積りで私から、我々の有つ悩みを當面して居る問題について聞いて頂きたいミ存じます。

私共の毎日取り扱つて居ります乳幼児の多くは、今生活線よりすつミ下に、即ち缺食兒級にあるもので御座います。其の生活を委ぬる父は働き度くも仕事がないのです。決して怠惰又は我儘ではないのです。打ち續く不景氣は智識階級も小市民階級をも傷ませて居りますが、取りわけても細民地區にある人々の上には來る日も來る日も悲惨なものミなつて居ります。

さる有名な女流教育家の昨年かの年頭の言葉ミいふのをきゝますミ「水引きかけしプレゼントこそなければ、太陽は隅々まで照らす、感謝せねばならぬ。」いふ意味のこゝ

がありました、然し、今日も明日もミ家族餓ゆる時に、父心母心は我が子等の顔打ち眺めつゝ込み上ぐる泪の目は一握りの米の慾しさで一つぱいでせう、腹滿されて始めて今迄氣付かざりし頭上の太陽に、日照りて暖かしミ抱く子に頼ずりするこゝでせう。

此の人達の心は、仕事があれば仕事があれば此の願ひで一杯でございます。勞働カードにのせてもらつてもやつミ一日一圓三十錢の仕事が月十回か或は數回あるだけですよ。朝三時又は四時頃より職業紹介所へかけつけても、今日もなし明日もなしミ打ちつゞき、又勞働になれぬ失業者は、行商、夜店、飴屋、屑屋、等ミ實に種々の仕事に變つて行きますが、何れもよくて五十錢多くは終日働いて僅かに二三十錢ミいふのがザラなのです。

内儀さんたちも特別に内職の澤山ある地區に住む人は

別としてそれも極く僅かにて、今日ではもう内職を得るこ
 ミが困難になりました。工場も會社も家内工業も縮少ミ閉
 鎖の増加し行く許りで失業者の増すミ共に勞働賃銀が下
 る一方ですから貧しき者は愈々貧しさ加り是等の家の兒
 等は父母の被護の下にあり乍らも殆ど總てが減食或は缺
 食の憂き目を見つゝあるミいつてよいのです。此の傷まし
 き事實の前に世の父母達はゆるぎたいものでござります。
 殊に幼児教育に任ぜらるゝ方々の御助力を願ひたいミ思
 ふ次第で御ざいます。

此冬東京聯合婦人會が缺食兒の爲めの募金を企てまし
 たが婦人の熱誠なる誠心は酬みられて一萬餘圓の淨財が
 集まりました。實に固き信念の下に爲さるゝ行爲は目的
 を貫き得るものなる事を實證されたものでしたが、其の内
 五千圓はすでに東京府下の小學校に於ける缺食兒童に當
 てられ二千圓は市内の小學生に、残る三千餘圓を以つて府
 市通じての缺食乳幼児に當てらるゝ事になりました。之れ
 によつて最も密集せる細民地區に在る三十ヶ所の托兒所
 や婦人會が、その地區の缺食乳幼児に對し或はお米の配給

を或は晝飯の振舞ひを又牛乳の給與等、最も寒く、且つ親
 の仕事の少き、一、二月から三月にかけて實施する事にな
 りました。然し僅かに一地區當り百圓、八十圓、六十圓の
 割りあてゝは一人食四錢を豫算して一ヶ月を保つには
 幾人の兒等に預ちうるでせうか。此の地區に存在する托兒
 所が此企を遂行すべく調査をいたしました結果は實に困
 窮家族の豫想以上に多く、此の家は今日は糧あるも明日は
 危く彼の家は明日は仕事あるかもしれねえ明日又其の
 次ミ仕事の見込みなし等、實に托兒所に二錢なり三錢なり
 の日謝をもつて、辨當もつて來られぬ悲惨な兒等多く、彼
 の兒を拾ひ此の子を捨つるの取捨を許さぬ、狀態であつて、
 病弱兒やトリ目や發育不完全な兒を見る、毎に恒久的減食缺
 食兒である事を考させられますが、給食を必要とする乳幼
 兒の數は東京市府合せて三千五百以上四千に上るかミお
 もはれます。府下雜司ヶ谷水久保を調査し來りし巢鴨在の
 西窓學園の若人がびつくりして語りかかせます。一日十
 錢の殘飯にて幾人の家族が命を保つて居るこ、或る家に
 十二時に行きし爲め晝飯時で母子等が圍む臺の上には

唯一つのオカラの井がのせてあり子供は真黒い手でつかんで食べて居つた事や、子供はパンを盗んで来たので他家から其の金を借りて支拂つた事や、子供たちはゴミ箱の中をあさつて困る話なき、涙なくしてはきかれぬ話で御ざいます。

私共は平素此様な事實を見つゝも、托兒所の内部の事とその附近の一部の事の爲に追はれて一般の乳幼児に迄及びませんでした。此問題の重大なる事を思ふにつけ今は皆様に訴へねばならぬ時機が来て居ることもひます。貧しき家々の内二三の家族を實例として申し上げます。

實例

巢鴨宮下居住の某の家

昨冬妻が永の病ひの後チブスに罹つて入院し夫はその看護のため病院に付きゝり居る内つひに感染してしまひ、留守の家庭には十一になる長男と九歳の長女とが七歳、五歳、四歳、二歳の幼き弟妹の全生活を背負つて面倒を見てゐるが、元より永年に互る主人の失業生活に一文の蓄へも残されず、親類よりのさゝやかなる補助と西窓學園及び

隣人達の同情で六人の子女は生活してゐる。

小石川區西丸町、コック某

月收僅かに二十五圓で妻君の他に六歳を頭に四人の子があり、而かも此の一月に又お産があることになつてゐる。之に主人の両親二人、つまり八人の家族が之で衣食してゐる。

府下雜司ヶ谷水久保居住某

家族五人なるも主人はテンカン病持ちにして頭が悪く持病が起りて、大火傷をし、ついに失業者となり、妻は三好野あたりより賣り残りのスシを買ひ入れ、之を行商し、一日平均僅かに十五錢位の収入で、一家の露命をつないで居る。子供は十一、九、三の三人であるが上の二人は就學するこゝさへ出來ぬ有様である。

西巢鴨向原居住某

主人は失業状態に近い自由労働者なる故に、朝三時におきて職業紹介所に行くも殆ど職を得るこゝさなし。妻は内職せしもその仕事充分になくして一家の収入一日三十錢なる爲、活動盛りのいたいけなる子供達は、二

兒は榮養不良になり、一人はトリ目となりて、眼もあてられぬ悲惨なる状態である。

日暮里某車力の家

夫婦の外に十三を頭に五人の子供あり、一時盛業だった夫の仕事も、文明機に壓倒されてしまひ、今では一日三十銭内にして、殆ど失業状態に近い有様である。妻は赤兒の爲に定職につくことを得ずして、知人の使ひ歩きから洗濯物、そのすきには薪を拾つて居る等の雑業にして、その收入は一日僅かに十銭にもみたない有様であるから、七人の家族は殆ど毎日粥をすゝつて居る状態であるから衣類はももより寢具に於ても七人に對し僅かに上下四枚のみである。過日森村小學校の母の會より寄贈されし、寢具を二枚配附せしところ、大いに喜び、生れて初めての暖かい冬を過すことが出来るミ夫婦は感涙し乍ら、語つて居た。

次に是等の家庭の收支状態を見るため一例を記します。

某家(日暮里在住)家族六人、乳兒あり。

父、自由労働者(月收拾八圓)

母、靴下ほぐしの内職(月收參圓)

四疊半一間

收入合計一ヶ月貳拾一圓

支出

水道料	二拾五錢	隣ミ共同して一人の名儀で使用
家賃	參圓五拾錢	未納
電燈料	六拾錢	(十六燭)月おくり
汲取料	參拾錢	未納
薪炭料	壹圓貳拾錢	炊事火鉢用全部
米代	六圓貳拾四錢	(一升拾六錢三斗九升)
味噌代	六拾錢	
醬油代	六拾錢	(二升)
砂糖代	四拾錢	子供達がなめる。
副食物	七圓五拾錢	(日々の雜費共)
教育費	貳拾錢	(小學四年の娘の月謝)
理髮代	貳拾五錢	(主人)
風呂代	壹圓參拾錢	
煙草代	五拾錢	

日暮里の托兒所幼兒の家庭調査によつて得たるもの六

十家族の内、要救護家族三十戸について

一 家族數平均 五人四分

収入一月平均 拾一圓

(生活費全部)

巢鴨小石川方面同じく六十戸に付て

一家平均五人三分

収入一月拾七圓〇六錢

此の家計状態を見ましても其家族がたゞ生きるべき最低の要求をさへ満たしえぬ事は明らかです。まして母は乳呑兒母をかゝへ育ち盛りの子等の居る家として。

貧しき家の主婦の苦心は想像するに餘りあります。多くは着更への一枚もなく、羽織さへ脱いで質屋に入れ子供糧にかへねばならず、陽も入らぬ唯一室の片付け様もなきボ疊の上には仕事にあぶれし父は力なく臥して居り、子供は母の心も知らずしてお小遣ひをねだります。三四月電燈料はらはぬからきて罵りながら工夫は電燈線を切つて行きます。此貧しき苦闘する母の心はごんなでせうか。

是等多くの母も吾等が女性の一人であります。尊き母の

役目に凡てを忍従しつゝある此の母達に私共は温き心をおくりて慰め勵まし、共同奉仕、相互扶助、有無を通ずるの和やかさをもちたいもので御ざいます。今の貧しきは、昔の貧しきに比べて心身共に受くる影響は大いにおもひます。一家は全く向上の光りを失ひ兩親を中心にして子供等の上を包む一家の精神さいふものはかけをひそめ、のみならず次第に荒み行く計りです。此中に育つ多くの兒等を私共は唯止むなき事として傍觀して居る事は社會正義の上より又人類愛の上より許されぬこととおもひます。生活苦にやつれ疲れし母に私共は總がかりで、力をかし其子等を立派に肥らせ眞直に強く愛らしく育てたいものでございます。此使命を幾分にも果して居りますものは托兒所だき信じます。昨年は徳川家の寄附による給食を一ヶ月程つゞけ、次に或る時機に東京府よりの配給米があり、又朝日新聞社からは牛乳を四十日ほご配られましたし、托兒所それ自らに於ても夫々の經營難の中より給食をすべく頭をなやました。然し之れは收容兒に付てゞありまして、一般の對象幼兒には及ばなかつたので御ざいます。此時に

前述の東京聯合婦人會の企によつて一般の餓食乳幼児に給食しえまますことは感謝に耐えぬ次第でございます。小學校の餓食兒に對しては、公費又は寄附によつて相當の考慮が拂はれて居りますけれども、乳幼児に對しては此度の東京聯合婦人會の企がはじめてでございます。然し限りある資金一地區に當り百圓又は數拾圓では一月二月の間に全く盡きてしまひます。長く待ちのぞまれし救護法案も漸く實施さるゝといふものゝ其豫算はズツトけづられて居り殊に老者、病者、不具者をも對象して居りますから、乳幼児には、その一割にも及びえぬと豫測されて居ります。

現時の不景氣狀態の長くつゞけば續くだけ、其對象乳幼児の數の多ければ多いだけ、たゞ少數の社會事業家や、有志者に任すべきものでなく、全國的に爲政者はじめ有能者によつて討究すべきものと思ひます。

生江孝三先生が大坂毎日新聞慈善團時報によせられし御言葉に「彼等の生育を餓食即ち榮養不良の狀態の儘に放任して顧みないと思はれば、それこそ極めて慘忍の處置といはねばならぬ、英國議會が餓食兒童の給食費を大多數を以

つてこれを通過せしめたのは蓋し自然である、と。外國の例は私共に刺戟を與へる、實に國家は善處すべきであります。母子法案さへ中々決定を見ぬ、我が國の情勢は政黨の擴大にのみ腐心する人々にまつては殘念乍ら、乳幼児の事等は問題にはならぬのです。そこで吾々婦人殊に乳兒教育に當らるゝ方々に訴へて何等かの方法を考へたいと思ふ次第で御座います。幼稚園の父母方に協力を、給食費維持會費を募集するとか、又は聯合して催しものを、バザーを、等外に何かよき方法ございませんか。そして町の有力者に訴へます。此くして所々に起る小波の波紋をひろげ行く様に多くの關心を呼び起したいと切望の餘り皆様は御相談申上ぐる次第でございます。日支問題の危念の今日、來るべき次の時代を強め行く爲めにも此問題はおろそかに出來ぬ事とおもひます。貧の原因は社會にあるにせよ個人その親にあるにせよ、子等には罪なく而かも將來を有つて居ります。まづ此の幼な兒を平等に幸福にするこゝは、暗き世相を明るくいたします眞の文化のパロメータ―ではないでせうか。